

Mado 窓

「窓 創刊 100号を迎えて」
－これからの大学病院の役割－

北里大学病院長 海野 信也

現在、北里大学病院では、来年春の新病院開院に向け、建設作業と組織作りが急ピッチで進められています。新病院の開院に引き続いて新棟改修及び東病院の改修が行われ、平成27年5月には、新大学病院・新東病院がフルオープンする予定となっています。新しい両病院は、機能的に密接に連携し、超急性期医療・救急医療を担う新大学病院とポスト急性期医療を展開する新東病院が地域医療の中で明確な役割を果たすことのできる体制を整備してまいります。

超高齢化が進行する我が国の医療において、大学病院の果たすべき役割は大きく変化しようとしています。疾病を抱えても住み慣れた生活の場で療養し、自分らしい生活を続けられることを目指す「地域包括ケアシステム」の構築が求められている中で、地域の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供を行うことが必要となってきています。これからの大学病院は、高度先進医療の推進だけでなく、そのような新たな医療現場を支える人材を

養成して地域に確実に供給するとともに、在宅医療を担う地域の医療機関を支える機能を有する必要があると考えられます。北里の新大学病院・新東病院が目指しているのはまさにその役割をこの相模原の地で果たしていくことです。

平成6年2月に第一号を発行した大学病院と地域の医療機関の皆様を結ぶ「窓」はこのたび、百号という区切りの時を迎えました。学校法人北里研究所も創設百周年を迎えようとしています。地域の中での北里大学病院・東病院をこれからもなにとぞよろしく願い申し上げます。

(うんの のぶや：産科学 教授)



これからの患者支援、TSCへ向けて

北里大学病院 患者支援センター部
部長 小野沢 滋



まどの創刊号が私の手元にあります。発行されたのは平成2年12月20日。私が医師になった年の12月の事です。当時は、総合相談部のニューズレターとして発行されており、その中に、当時の病院長であられた坂上正道先生の寄稿があります。

『医療は心身の障害をいやしてひとびとに幸せをもたらすように奉仕します。しかしひとびとのなやみや苦しきは病院の現場でとらえられるものはきわめて限られています。しかも患者さんが訴えてこられてはじめてそれに気づかされるという偏った一面もあります。

総合相談はひとびとの中へのりだしていったらそのような問題をとりえ、医療が対応すべきもの、社会が対応すべきもの、あるいは個人の訴えをとらえて交流することによって問題解決の道をとらえようとする活動です。』

という書き出しで始まるこの文章には、わたしたち、患者支援センター部、そして、来年度から始まるトータルサポートセンターの目指すべき道が示されています。

また、総合相談部設立3周年の平成5年の『窓No.9』には、重症者の在宅医療の受け取り手がないこと、患者さん自身が大学病院に受診を継続したいと望む事が多いこと、紹介、逆紹介の問題、紹介状の返書の問題などが様々な方から報告されています。

それから20年後の私達がこの文章を見て驚くのは、今私達抱えている問題とほぼ同じであるという事実は、在宅医療の環境は改善され、多くの医療機関が重症の在宅患者さんを引き受けてくださって

います。しかし地域によっては今も難しい現状があります。患者さんが地域の医療機関に移行することを好まないという点も今も続いています。地域の先生方からは入院患者についての返書がない事がある、というお叱りを今も受けることがあります。

来年には新病院になり、私達の部署もトータルサポートセンターとして生まれ変わります。これを機会に20年前から抱えている様々な課題に果敢に取り組み、そして、20年後の200号のmadoをお送りできる頃には、地域の患者さんたち、地域の医療機関の方たちから、『北里があるから、この地域は安心だね』と言われるように努力を重ねていこうと思いますので、よろしくお願い致します。

(おのぞわ しげる：患者支援センター部)



窓発刊 100号を迎え



事務部長 熊澤 豊彦

平成2年12月20日総合相談部ニューズレター「窓」が発刊され今回で100号となります。発刊1号に注目する内容が有り抜粋・引用致します。「患者サービスの第一は的確な診断と迅速な治療即ち早く元の健康体に回復させることである。【中略】予防医学から救急医療・検査診断・治療・リハビリ更には在宅・訪問看護と一貫した医療のシステム化が養成されるようになってきた。」この数行に凝縮された考え方は20数年を経て更に重要視されつつあります。

この広報誌Madoは発刊当初の総合相談部・病診連携室・患者支援センター部と主管部署の名称は変遷しておりますが、大学病院として地域医療機関等に様々な情報発信により良好な協力連携を維持継続することを目的として発刊してまいりました。

発刊当時と現在では当院を取り巻く環境は大きく変化致しました。当時の初診患者の紹介率は30%を前後する状況でしたが、平成24年度平均で77%超の実績であり、「かかりつけ医」と大学病院との診療連携の在り方が患者の皆さんにも十分に浸透した結果だと思います。専門的な高度医療並びに先進医療の提供による地域医療へ貢献は大学病院の使命と認識しており、平成26年5月開院の新大学病院で展開を計画しております。

また、災害拠点病院として、院内における災害訓練の他に、一昨年のも東日本大震災と同等規模の災害の発災に備え、この地域で災害医療に携わる多くの職種を対象とした研修会並びに救命救急士の実習の協力をしてまいりました。平成23年12月より運用が開始されました傷病者の搬送受入に関する相模原ルールに加え、本年6月より大和市、座間市、綾瀬市に運用を拡大致しました。

今後10～15年後の相模原市の超少子高齢化は様々な書面に詳細に紹介されています。

筆者も同様に高齢者の仲間入りとなり要介護の状況も十分に予測されます。

この広報誌Madoの発刊が続き20年先の200号の記事を記載する時代は予測すら出来ませんが、患者への低侵襲の手技や薬物治療並びに検査診断機器等の医療技術の進歩により、現在以上に医療機関での入院治療の期間は短縮化されます。病院と医療機関・介護施設・在宅の関連は今以上にシームレスで対応せざるを得ないと思います。より一層の協力によりWin-Winの関係の構築が必要だと思います。

最後になりますが紙面をお借りして自己紹介させて頂きます。大学病院では医事課・人事課・資材課・総務課等を担当し、平成20年から4年間北里大学東病院に在籍し本年4月に大学病院事務部長に異動致しました。病院事務職の責務は、患者さんの診療等に従事する医師・看護師・メディカルスタッフが個々の専門知識を十分に発揮できる環境を作り、経営を安定させるものと考えております。

今後ともより一層のご支援ご協力をお願い致します。

(くまざわ とよひこ：事務部 部長)

窓「Mado」100号を発行するにあたり



患者支援センター部
編集担当 中溝 一男

いつも、窓「Mado」をご愛読いただきましてありがとうございます。お陰さまで発刊100号を迎える事ができました。これも地域の医療機関や先生方のご協力があればと感謝申し上げる次第です。

北里大学病院ニューズレター「窓」としては、平成6年2月に第1号が発刊されました。それ以前は、前身である総合相談部のニューズレターとして平成2年2月に創刊されました。平成9年からは、北里大学病院病診連携室が編集を担当しました。平成18年からは、病診連携室が患者支援センター部に組織が再編成されたことによって発行元も当センター部が継続して発刊をしております。

100号を迎える間に様々な出来事がありました。建物は平成10年に現新棟が増設となり、特定機能病院の承認、二次被ばく医療施設承認、災害拠点病院・HIV拠点病院・地域がん診療連携拠点病院等の指定といずれもその時代のニーズに対応すべく変貌をいたしました。また、医療制度の改正等からその対策や診療報酬に反映される事由による事柄も多く、心リハの開設、全館禁煙、外来化学療法センター設置、

移植医療支援室設置等がありました。病院の歴史にも、平成13年には開院30周年、平成23年には開院40周年を迎える事が出来ました。運営母体の組織も平成20年4月に北里研究所と北里学園が統合して学校法人北里研究所となっています。

患者支援センター部の理念は、「患者およびその家族・地域住民のための、適切でより良い療養生活中心の包括的な援助」と「地域医療と医療・保険・福祉の統合の推進」です。

現在、当センター部では来年度に控えた新病院で当センターの理念の下によりよい効率的な患者サポートが出来るようにシステムの構築を鋭意推進中です。また、今後訪れようとしている超高齢者社会の対策として地域の医療資源を十分に活用できるコンソーシアムの立ち上げの取り組みをしています。

今後とも地域の医療機関や先生方に当院の動きや取り組み等を少しでもお知らせ出来るように努めてまいりますので何卒宜しくお願い申し上げます。

(なかみぞ かずお：患者支援センター部 係長)

〒252-0375 神奈川県相模原市南区北里1-15-1
北里大学病院 患者支援センター部
TEL 042-778-9988 FAX 042-778-9599
<http://www.kitasato-u.ac.jp/khp/>
E-mail / shoukaiw@kitasato-u.ac.jp

『窓』 100号の歩み

号	発行日	トピックス・記事	部署名	発行責任者	病院長	沿革
1	H2 12.20	総合相談部ニュースレター窓	総合相談部	酒井 糾	坂上 正道	
2	H3 3.20	相談業務の統合について	〃	酒井 糾	坂上 正道	
3	6.10	第1回フリーディスカッション	〃	酒井 糾	坂上 正道	
4	9.10	第2回フリーディスカッション	〃	酒井 糾	坂上 正道	
5	12.10	第3回フリーディスカッション	〃	酒井 糾	坂上 正道	
6	H4 3.20	第1回公開講座	〃	酒井 糾	坂上 正道	
7	7.20	現建物移転／H4.3.27	〃	酒井 糾	坂上 正道	
8	11.20	第6回フリーディスカッション	〃	酒井 糾	坂上 正道	
9	H5 8.1	設立3周年	〃	酒井 糾	石橋 晃	
10	9.1	後方病院整備の必要性について	〃	酒井 糾	石橋 晃	
11	10.20	病院ボランティアについて	〃	酒井 糾	石橋 晃	特定機能病院承認／H5.12.1
1	H6 2.25	北里大学病院ニュースレター「窓」	〃	吉村 博那	石橋 晃	
2	4.10	開業医からの投稿と回答について	〃	吉村 博那	石橋 晃	
3	7.1	救命救急センターの概要について	〃	吉村 博那	石橋 晃	
4	9.1	開業医から投稿について	〃	吉村 博那	大和田 隆	
5	11.1	病院長就任	〃	吉村 博那	大和田 隆	
6	H7 1.1	病院施設でのリスクマネジメント	〃	吉村 博那	大和田 隆	
7	3.1	病診連携室の紹介	〃	吉村 博那	大和田 隆	
8	5.1	コミュニケーションの大切さについて	〃	吉村 博那	大和田 隆	
9	7.1	開業医から大学病院に望む	〃	吉村 博那	大和田 隆	
10	9.1	遺伝子相談、プライマリーケアについて	〃	吉村 博那	大和田 隆	
11	11.1	接骨院の現況	〃	吉村 博那	大和田 隆	
12	H8 1.1	相模原市医師会会長	〃	吉村 博那	大和田 隆	
13	3.1	新病棟建設と病診連携	〃	吉村 博那	大和田 隆	
14	5.1	循環器医療の在り方	〃	吉村 博那	大和田 隆	災害拠点病院指定／H8.5
15	7.1	在宅酸素療法	〃	吉村 博那	大和田 隆	
16	9.1	町田市医師会会長	〃	吉村 博那	大和田 隆	
17	11.1	厚木市医師会会長	〃	吉村 博那	大和田 隆	
18	H9 1.1	大和市医師会会長	〃	吉村 博那	大和田 隆	
19	3.1	津久井郡医師会会長	〃	吉村 博那	大和田 隆	HIV拠点病院選定／H9.2
20	5.1	八王子市医師会会長	病診連携室	佐藤 重義	大和田 隆	
21	7.1	診療連携推進委員会設置、院内文書A版化	〃	佐藤 重義	柿田 章	
22	9.1	小児虐待への取組み	〃	佐藤 重義	柿田 章	
23	11.1	化学物質過敏症	〃	佐藤 重義	柿田 章	
24	H10 1.1	新病棟建設	〃	佐藤 重義	柿田 章	
25	3.1	地域に根差した特定機能病院を目指して	〃	佐藤 重義	柿田 章	
26	5.1	N I C U増床	〃	佐藤 重義	柿田 章	新棟増設／H10.4
27	7.1	がん専門看護師の誕生	〃	佐藤 重義	柿田 章	
28	9.1	大和市立病院長	〃	佐藤 重義	柿田 章	
29	11.1	リハビリテーションセンターの改修	〃	佐藤 重義	柿田 章	
30	H11 1.1	新棟腎センターの役割	〃	佐藤 重義	柿田 章	
31	3.1	地域医療のシステム化	〃	佐藤 重義	柿田 章	
32	5.1	感染症部の新設	〃	佐藤 重義	柿田 章	総合リハビリテーション開設／H11.5
33	7.1	F A X情報サービス	〃	佐藤 重義	柿田 章	
34	9.1	相模原市総婦長会長の挨拶	〃	佐藤 重義	柿田 章	
35	11.1	介護保険導入と介護保険支援事業所	〃	佐藤 重義	柿田 章	
36	H12 1.1	夢と希望と健康を	〃	佐藤 重義	柿田 章	
37	3.1	相模原市総合保健医療センターについて	〃	佐藤 重義	柿田 章	院外処方実施／H12.4
38	5.1	看護部長就任にあたり	〃	佐藤 重義	柿田 章	二次被ばく医療施設承認／H12.5
39	7.1	病診連携室HP開設／H12.7	〃	佐藤 重義	柿田 章	心リハ開設／H12.5
40	9.1	コンビニオープン／H12.9	〃	佐藤 重義	柿田 章	
41	11.1	放射線部長就任にあたり	〃	佐藤 重義	柿田 章	
42	H13 1.1	私大病院小児医療の危機	〃	佐藤 重義	柿田 章	
43	3.1	相模原市保健所移管	〃	佐藤 重義	柿田 章	
44	H13 5.1	児童虐待防止の動向について	〃	佐藤 重義	柿田 章	

号	発行日	トピックス・記事	部署名	発行責任者	病院長	沿革
45	7.1	緩和ケアへの取組み	病診連携室	佐藤 重義	柿田 章	開院30周年
46	9.1	退院支援について	〃	佐藤 重義	柿田 章	
47	11.1	共に創られる医療と病診連携	〃	佐藤 重義	柿田 章	
48	H14 1.1	神奈川県医師会会長	〃	佐藤 重義	柿田 章	
49	3.1	PICU設置について	〃	佐藤 重義	柿田 章	
50	5.1	4C病棟消化器内科稼働	〃	間瀬 行雄	柿田 章	標榜科24科(小児外科追加)／H14.4
51	7.1	医療安全対策について	〃	間瀬 行雄	柿田 章	
52	9.1	民間病院からみた医療改革	〃	間瀬 行雄	柿田 章	
53	11.1	二次被災く医療施設について	〃	間瀬 行雄	柿田 章	緩和ケア室設置／H14.11
54	H15 1.1	赤星先生室長就任	〃	赤星 透	柿田 章	
55	3.1	小児救急医療事業について	〃	赤星 透	柿田 章	全館禁煙／H15.4
56	5.1	患者窓口開設／H15.4	〃	赤星 透	藤井 清孝	医療安全管理室、遺伝診療部設置、 DPC導入／H15.5
57	7.1	副院長・診療部長就任にあたり	〃	赤星 透	藤井 清孝	
58	9.1	遺伝子部門開設にあたり	〃	赤星 透	藤井 清孝	許可病床数1033床／H15.8 病院機能評価認定／H15.9
59	11.1	病院機能評価「認定」について	〃	赤星 透	藤井 清孝	経営戦略企画室設置／H15.10
60	H16 1.1	外科部長就任にあたり	〃	赤星 透	藤井 清孝	
61	3.1	インターネットMado開設	〃	赤星 透	藤井 清孝	管理型臨床研修病院指定／H16.4
62	5.1	北里眼科病診連携会について	〃	赤星 透	藤井 清孝	保険診療指導室設置／H16.5
63	7.1	動き出した新研修制度	〃	赤星 透	藤井 清孝	
64	9.1	前立腺における密封小線源療法について	〃	赤星 透	藤井 清孝	外来化学療法センター一部設置／H16.10
65	12.1	コスメプログラムの取組み	〃	赤星 透	藤井 清孝	
66	H17 1.1	新潟中越地震被災現場における活動	〃	赤星 透	藤井 清孝	神奈川県総合周産期母子医療センター 指定／H17.1
67	3.1	モンゴルでの医療支援	〃	赤星 透	藤井 清孝	
68	5.1	感染管理室専任看護師について	〃	赤星 透	藤井 清孝	
69	7.1	総合周産期母子医療センターについて	〃	赤星 透	藤井 清孝	
70	9.1	膠原病・感染内科学講座創設	〃	赤星 透	藤井 清孝	
71	12.1	退院計画調整看護師の活動	〃	赤星 透	藤井 清孝	
72	H18 1.1	麻酔科医はなぜ足りないのか	〃	赤星 透	藤井 清孝	
73	3.1	医療における「もったいない運動」とITの役割	〃	赤星 透	藤井 清孝	研修管理センター／H18.4
74	5.1	放射線治療の現状	〃	赤星 透	藤井 清孝	移植医療支援室、入院7:1承認／H18.4
75	7.1	患者支援センター部改組／H18.7	〃	赤星 透	藤井 清孝	医療情報管理室／H18.7
76	9.1	脳卒中診療部門立ち上げにあたって	〃	赤星 透	藤井 清孝	
77	H19 1.1	核医学診療の紹介	患者支援センター部	東原 正明	藤井 清孝	地域がん診療連携拠点病院指定／ H19.1
78	3.1	患者相談窓口の紹介	〃	東原 正明	藤井 清孝	
79	5.1	臨床研修センターについて	〃	東原 正明	藤井 清孝	感染管理室設置／H19.4
80	7.1	産科における新しい取組みについて	〃	東原 正明	藤井 清孝	
81	9.1	腎移植医療の現状について	〃	東原 正明	藤井 清孝	
82	11.1	呼吸器外科長就任にあたり	〃	東原 正明	藤井 清孝	
83	H20 4.1	法人統合について	〃	東原 正明	藤井 清孝	学校法人北里研究所北里大学病院に 名称変更／H20.4
84	11.1	放射線治療の紹介	〃	東原 正明	藤井 清孝	
85	H22 3.25	がんサロンについて	〃	東原 正明	藤井 清孝	
86	6.1	脳卒中地域連携バスについて	〃	東原 正明	藤井 清孝	
87	8.2	NST活動について	〃	東原 正明	藤井 清孝	放射線画像診断科設置／H22.8
88	10.1	病児保育室開設について	〃	東原 正明	藤井 清孝	
89	H23 1.1	改正臓器移植法について	〃	東原 正明	藤井 清孝	RST・RRT室設置／H23.1
90	3.1	医療廃棄物と環境について	〃	東原 正明	藤井 清孝	看護コラボレーションセンター設置／ H23.3
91	6.1	災害対策について	〃	東原 正明	藤井 清孝	開院40周年
92	9.1	がん地域連携バスの運用について	〃	東原 正明	藤井 清孝	新病院着工／H23.9
93	H24 1.1	病院新情報システムについて	〃	東原 正明	藤井 清孝	電子カルテ導入／H24.1
94	3.1	相模原ルールについて	〃	東原 正明	藤井 清孝	
95	6.1	海野先生病院長就任	〃	東原 正明	海野 信也	
96	9.1	漢方外来の紹介	〃	佐藤 之俊	海野 信也	
97	H25 1.1	リレーフォーライブの参加について	〃	佐藤 之俊	海野 信也	
98	4.1	トータルサポートセンター構想について	〃	佐藤 之俊	海野 信也	
99	6.1	北里大学病院が進める退院支援	〃	小野沢 滋	海野 信也	
100	9.1	窓 創刊100号を迎えて	〃	小野沢 滋	海野 信也	